



ならしの

千葉県済生会習志野病院 院外広報誌

済生会だより

No.57 2021
新春号

年頭のごあいさつ

病院長 小林 智

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍で大変な一年となってしまいました。

しかし、年が改まったからといって、コロナ禍が収まるわけではありません。いつ終息するか、先が見えない状況で、新型コロナウイルス感染症との共存という形で、新しい生活を模索していかなければなりません。外出が良くないということが前面に出ていますが、無防備に人ごみの中に入っていくのが良くないということで、マスク着用やアルコール消毒、うがいの徹底を実行し、人の少ない場所や時を見て、散歩、外出するのは悪いことではありません。外出をしないと、足腰も弱くなりますし、精神的にも良くない方向に傾くと思いますので、皆様、ご注意をお願いいたします。

当院も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に充分注意しながら新型コロナウイルス感染症対応をしつつ、従来の診療を続けていかななくてはと考えています。

本年もよろしくをお願いいたします。

皆様にとって、より良い一年であることを祈念しております。

Contents

- 年頭のごあいさつ
- 治療を中断していませんか？
- 副院長から新年の抱負と診療科の紹介
- 開錠時間の変更のお知らせ
- よくある質問

すべてのいのちの虹になりたい



病院の理念

- ・患者さんに寄り添う医療を通して、地域住民の健康と福祉の増進に寄与します

病院の基本方針

- ・患者さんの権利と意思を尊重し、ともに考え良質で効率的な医療の提供に努めます
- ・全ての職員はレベル向上のため研鑽し、最善のチーム医療を行います
- ・地域医療機関との連携を深めて、中核病院としての役割を果たします

患者さんの権利

- ・良質な医療を平等に受けることができます
- ・個人情報、プライバシーは保護されます
- ・病状や治療内容について十分な説明を受ける事ができます
- ・自分の診療内容について開示を求めることができます
- ・自分の意思により治療を選択し決定することができます

患者さんに守っていただくこと

- ・ご自身の健康や病気に関する情報を正確にお伝えください
- ・診療に協力し自ら治療に積極的に参加する気持ちをお持ちください
- ・病院の規則を守っていただきます

副院長から新年の抱負と診療科の紹介

新年の抱負と整形外科紹介

原田 義忠 副院長

昨年はコロナ禍の中、日本全体が自粛生活をする中で、外傷の手術は劇的に減少しました。“不要不急の手術の延期”という方針が、日本整形外科学会から示され、変形性関節症による慢性疾患の人工股関節・人工膝関節などの手術も、しばしば患者さんが敬遠されました。しかし、日常生活動作の改善は薬やリハビリテーションだけでは不十分でした。

今年は、コロナ感染症に十分注意しながら、運動器の機能再建外科として患者さんのニーズに応えていきたいと思えます。

整形外科は、頭部以外の全身の骨・関節・靭帯・筋肉・神経などを広く対象とする診療科です。当院では脊椎・脊髄に関連した疾患を対象とする脊椎センターと関節疾患の治療を担う関節外科センターに分かれ、それぞれの専門性を活かした高度な治療を推進しております。その他にも、千葉大学より“手の外科専門医”と“肩関節専門医”の先生に来て頂き、高度な手術をおこなっております。整形外科は専門性の高い医療を心がけ、患者さんを第一に考えた診療をおこなっております。

新年の抱負と脳神経内科紹介

上司 郁男 副院長

昨年春頃は「異例の年」だと思われましたが、徐々に「新たな時代の始まり」と気づかされました。新たな生活様式を求められると同様、新たな診療様式を模索しなければなりません。そのひとつにオンライン診療があります。私の予想としては、数年後には多くの病院、クリニックでおこなわれていることでしょう。

患者さん側に立てば、病院の往復時間、待ち時間が自由に使える時間にかわるわけです。医療者側が整備の煩雑さを理由に実施しなければ、時代に取り残されるに違いありません。

脳神経内科領域の変化としては、神経疾患にも抗体医薬品、核酸医薬品が使われるようになっており、不治の病と言われていた疾患に適應されています。脳梗塞超急性期治療は血栓溶解療法から血栓回収療法に重きが置かれています。我々も当院で出来る先進医療を取り入れて、地域医療に貢献していく所存です。

本年もよろしくお願ひいたします。

新年の抱負・脳神経外科の紹介

村井 尚之 副院長

昨年はもやもや病と正常圧水頭症とを中心に順調に手術件数が伸びて参りましたが、当院の実力はまだまだ十分に発揮できていないと思えます。

当院は、疾患によっては大学病院以上の実力があります。もやもや病や正常圧水頭症の患者さんのもっとはるはずですし、髄膜腫、動脈瘤、頸動脈狭窄などは、当院で良い手術が受けられます。今後はホームページなどでのPR・啓蒙活動をより促進し、地域連携にももっと努力をしていきたいと思えます。

地域の中核としてさらなる信頼を得るには、365日24時間の神経疾患当直体制が今後望まれます。そのためには、地道に手術件数を増やし、スタッフの数を増やしていくことが必要ですので、多少お時間をいただくことになるとは思いますが、必ず実現したいと思えますので、地域の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

手足に力が入りにくい、頭痛、ふらつき、転びやすい、物忘れなどなど、お気軽に受診いただければ幸いです。

新年の抱負と呼吸器内科の紹介

田邊 信宏 副院長

新年おめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大が、皆様の生活を一変させてしまったと思えます。当院でも、コロナを心配し受診を控える患者さんが増え、一方、発熱のためかかりつけ医を受診できず、救急外来を受診する患者さんが見られるようになりました。ただし、当初の未知の感染症に対する混乱の時代から感染予防をすれば対処可能な時代に變化しています。

当院の呼吸器内科および肺高血圧症センターは、9名の医師であらゆる呼吸器疾患患者の診療にあたっています。主訴として多い咳は、コロナを始めとする感染症で見られますが、肺がん、タバコ病である慢性閉塞性肺疾患(COPD)、喘息、蓄膿症、胃液の逆流、降圧薬の副作用等でも起こり得ます。坂道を登る時の息切れは、年のせいと思っていると、COPD、肺線維症、肺塞栓症、肺高血圧症、心疾患、貧血による場合もあります。これらの症状が長く続く場合、かかりつけ医と相談の上、当院呼吸器内科(原因不明の息切れのかたは肺高血圧症外来)にご相談ください。

当院をもっと正しく知ってもらうためのご参考になさってください

よくある質問

これから受診や健診、人間ドックなどで当院を利用される予定の方や、現在通院中の方や、利用中の方などからよく寄せられる質問をまとめてみました。当院をもっと正しく知ってもらうための参考になさってください。

Q1 初診時選定療養費とはなんですか？

A1 他の医療機関等からの紹介状（診療情報提供書）を持たずに200床以上の大病院を受診した場合に、初診料とは別に請求される料金で、病院独自に価格を設定することが可能です。ただし、当院のように400床以上の病院では、5,000円以上に設定するよう定められています。この制度は、「各医療機関の役割分担を推進すること」が目的です。

当院は、患者さんのかかりつけ医である地域の診療所やクリニックの先生方と常に連携をとり、協力して治療をおこなっています。病気になったときや健康に不安があるときには、まずかかりつけ医に相談をしましょう。かかりつけ医では、患者さんの心身の状態や過去の病気、生活習慣などを継続的に把握していますので、より適切な治療やアドバイスを受けることが可能です。また、その情報を紹介状（診療情報提供書）に記載してもらうことで、当院においても、より適切な医療を提供することができます。受診の際には、ぜひ紹介状をお持ちください。（医事課）



Q2 限度額適用認定証とはなんですか？

A2 年齢を問わず健康保険の負担割合が3割の方は、あらかじめ限度額適用認定証の交付を受け、保険証とあわせて医療機関の窓口に提示していただくと、診療費の支払いが自己負担限度額までですむ制度です。（医事課）

Q3 事前採血ってなんですか？

A3 事前採血とは、診察日当日ではなく、前日までに採血検査をすませておくことです。

比較的、採血室が空いている時間（正午～夕方）もご利用いただけますし、診察日当日は、採血検査結果を待つために早めの来院をする必要がなくなります。

事前採血検査の会計は、診察日に一緒におこないますので、検査がすみましたらそのままご帰宅ください。

検査項目によっては事前採血が難しいこともございますので、診察の際に担当主治医とご相談ください。（医事課）

Q4 保険会社の診断書の申請方法を教えてください

受付時間：平日 8:30～17:30（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

申請窓口：1階「書類受付」

持参いただくもの：診断書（所定書式がある場合）、診察券

※代理の方のみで申請に来られる場合は、「委任状」と身分証明証をご持参ください。

※委任状に以下の内容が記載されていれば書式は問いません。

- ・代理の方の氏名（続柄）、住所、電話番号、捺印
 - ・患者さんの氏名、生年月日、住所、電話番号、捺印
 - ・「診断書の申請・受取を代理人に委任する」旨の一文
- その他申請、受取方法等ご不明な点がございましたら、書類係にお問い合わせください。

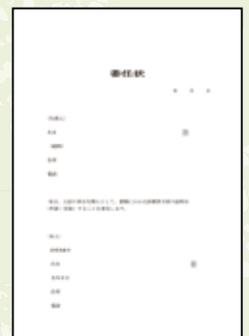
問い合わせ先：書類係 047-473-1281（代表）（書類係）



▲病院ホームページ



書類申請書 兼 引換券



委任状

Q5 書類申請書、委任状は病院ホームページからダウンロードできますか？

A5 病院ホームページからダウンロードが可能です。TOPページ「外来のご案内」→「診断書・証明書等の発行」のページから「書類申請書 兼 引換券」、「委任状」をダウンロードしご活用ください。（書類係）

Q6 初診の予約方法を教えてください

A6 紹介状（診療情報提供書）をご用意いただき、平日 8:30～17:30（土・日・祝祭日・年末年始を除く）の間に予約センター（直通電話 047-473-1298）へお電話ください。

※紹介状の宛先等を確認の上予約となるため、お手元にある状態でお電話ください。

※休日明けや週末前は特にお電話が繋がりにくくなっており、ご迷惑をおかけしております。恐れ入りますが、時間をあけて再度お掛け直しください。よろしくお願いいたします。（予約センター）

Q7 患者支援センターで相談するのに予約が必要ですか？

A7 事前にご予約をいただくと、お待たせせずに対応できます。ご予約がない場合でも対応はできますが、お待ちいただくことがあります。(患者支援センター)

Q8 退院後の療養生活について知りたい

A8 患者さんの状態をお伺いし、療養に必要なサービスや制度などの提案をします。場合によっては、それらのサービスや制度が使えるようになるまでの調整をおこないます。(患者支援センター)

Q9 介護保険について知りたい

A9 介護保険の申請方法や利用できるサービス等について、患者支援センターで説明させていただいております。(患者支援センター)

Q10 治療費の支払いが心配です

A10 ご自分が加入している健康保険に高額療養費の相談をしてください。限度額適用認定証が発行される方は交付を受けてください。それでもお支払いに不安がある場合は、患者支援センターにご相談ください。患者さんの状況に合わせて、使える制度がないかなど一緒に考えます。(患者支援センター)

Q11 人間ドック、生活習慣病健診は、何時に終わりますか？

A11 午前中に受ける方は、おおよそ11時30分くらいに終了します。ただし、健康診断の内容や、検査時間の遅延によっては、前後する場合があります。(健診センター)

Q12 検診センターに子供を連れて行きたいが、預かってもらえる設備はありますか？

A12 当院の健診センターには、お子様をお預かりする場所は設けておりません。(健診センター)

Q13 人間ドック・健康診断の結果は、どのくらいで届きますか？

A13 人間ドック、健康診断の結果は基本2～3週間程度で発送しています。ただし、後日検査などが発生した場合は、上記の期間には該当しません。また、雇用時健診など、内容によっては、当日もしくは、1週間程度で出来上がる場合があります。(健診センター)



治療を中断していませんか？

病院長 小林 智

最近、新型コロナウイルス感染症がらみで大変気になっていることがあります。

年頭のあいさつにも書きましたが、当院だけではなく新型コロナウイルス感染症の恐怖に怯え、外出を控えて、病院や診療所から遠ざかっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今まで続けてきた治療が中断されていないでしょうか。

中断している場合、徐々に具合が悪くなる方、数年後に急激に状態が悪くなる方もいらっしゃるのではないかと危惧しています。

当院に限らず、各医療機関は感染予防に充分配慮、対策を取っていますので、心配されず、どうか治療の再開、健診、検査の再開をお願いいたします。

開錠時間の変更のお知らせ

令和3年4月1日(木)より、正面玄関の開錠時間が午前7時30分から午後5時30分までとなります。

それ以外の時間は出入りが出来ませんので、何卒ご理解のほどよろしく申し上げます。

なお、それ以外の時間帯で緊急の場合は時間外救急出入口をご利用ください。

お知らせ 「済生会だより ならしの」は病院ホームページからご覧になれます。



発行／社会福祉法人 恩賜財団 済生会 支部千葉県済生会 千葉県済生会習志野病院

〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1 TEL 047-473-1281(代) FAX 047-478-6601
ホームページ <http://www.chiba-saiseikai.com>